

# なごかた

長田中央いちば



●10月21日に行われた「宮川子どもいちば」の様子

## たくさん売れるといいなあ

『いらっしやいませ!』『ありがとうございました。』『バンドナにエプロン、可愛い売り子姿の子ども達の威勢のいい声が、朝の長田橋に響き渡ります。』

毎年の恒例となった「子どもいちば」は、総合的な学習の時間に「長田中央いちば」と「障害者団体」「学校」「地域」が協働で行う取り組みです。

「僕らの街に出て学習しよう」を合言葉に、子ども達は小規模作業所・施設を訪れ、陶芸や手芸品、パンづくりなどを行い、長田中央いちば・長田橋の前で地域のお客様に販売をします。

様々な人たちとふれ合い、商品づくりを学ぶ流れの中で、地域の障害者の生活を理解し、商品作りを学ぶ流れで、子ども達の思いは「障害のある人にはお手伝いをしないといけない」から「同じ地域に暮らす大人と子ども」の「自然な関係」を保ちながら、福祉を学ぶこととなります。

長田区社協では、今後も皆様と連携を取りながら、「福祉教育・ボランティア学習」が学校と地域の架け橋になるよう、一步一步進めていきたいと考えています。